
内灘町地域公共交通総合連携計画

平成 20 年 3 月

内 灘 町

目 次

序章. はじめに.....	p.1
1. 背景と目的	p.1
2. 計画年次.....	p.1
1章. 地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ 一体的な推進に関する基本的な方針.....	p.3
1. 内灘町の現況と課題、 地域公共交通の活性化・再生の基本的な方針	p.3
2. 内灘町地域公共交通活性化・再生の方針・方向性・事業	p.5
2章. 地域公共交通総合連携計画の区域.....	p.7
3章. 地域公共交通総合連携計画の目標.....	p.9
4章. 目標を達成するために行う事業及びその主体.....	p.11
4-1 目標を達成するために行う事業.....	p.11
1. 地区別の移動手段の確保（コミュニティバスの導入）	p.11
2. 高齢者、通勤・通学の足として わかりやすさ、待ちやすさを実現.....	p.13
3. 乗り継ぎ利便性向上により使いやすさを実現.....	p.16
4. 浅野川線、既存路線バス、コミュニティバスの特性を 活かし、効率的で便利な運行を実現.....	p.20
5. 町民参加による持続可能な公共交通	p.21
4-2 目標を達成するために行う事業の実施主体.....	p.26

序章 はじめに

1. 背景と目的

内灘町は、施設配置、公共交通の路線網などの生活基盤において、河北潟をはさむ南北の地区で違いがあるため、生活利便性における差の解消が課題であった。このため、内灘町は、公共交通利便性の格差、公共交通利用者の減少、高齢化する住民の移動の確保などへの対応が必要であることから、平成 18 年度に「内灘町公共交通活性化計画」を策定した。計画の中では、「社会を支える：高齢者や車を運転しない人など、自動車を利用しない・できない人に配慮した交通手段の確保」、「経済的で持続可能：需要に応じた柔軟で持続可能な公共交通の実現」、「環境に配慮した公共交通の実現」、「環境負荷を軽減：環境に配慮した公共交通の実現」を公共交通の方針とした。これに基づき、南北の公共交通における利便性を高めることを目的とし、平成 20 年 2 月からコミュニティバスの導入実験を行っている。

今後は、コミュニティバス、浅野川線、民間路線バスなど既存の公共交通とコミュニティバスとの連携を図り、公共交通全体の利便性を高めることにより、金沢市内から内灘町への移動がシームレスに行われ、町内の移動もスムーズに行うことができる「便利で生みよい快適なまちづくり」（第 4 次総合計画・H18 年度策定）を実現する必要がある。このため、今後の公共交通のあり方を示すことを本計画の目的とする。

本計画は、この目的に基づき、平成 18 年度に策定した「内灘町公共交通活性化計画」と平成 19 年度に策定中である「内灘町におけるコミュニティバスと既存公共交通の連携による地域内の公共交通活性化計画」を基本とし、とりまとめた計画である。

2. 計画年次

本計画の目標年次は、10 年後の平成 30 年とし、町民ニーズや社会情勢の変化が予想される 3 年ごとに見直しを行うこととする。

計画期間：平成 20 年 3 月～平成 30 年 3 月

1章 地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針

1. 内灘町の現況と課題、地域公共交通の活性化・再生の基本的な方針

内灘町の現況と課題、公共交通の活性化、再生の基本的な方針を以下にします。

内灘町の現況と課題

課題1 南部地区住民も北部地区住民も移動しやすい公共交通環境をめざす

- ・北部地区においては、路線バスの本数が少なく、日常生活における移動が不便な状況である。町民アンケートでは、南部地区の病院、スーパー、役場、駅などへの移動ニーズが高く、利用しやすい公共交通環境の確保が必要である。
- ・住みやすいまち、住み続けたいまちの条件として公共交通の充実が必要である。

課題2 高齢化社会に対応した公共交通環境をめざす

- ・今後、予想される高齢化社会に対応した、車を利用しない、できない人に対応した公共交通環境の充実が必要である。

課題3 利便性向上策の実施により、利用者の増加をめざす

- ・浅野川線は、沿線の人口減少などにより、利用者が減少している。
- ・浅野川線は、自動車の利用できない女性や高齢者にとって必要不可欠な移動手段であり、高齢化が進む今後はますます重要な機能が期待されるため、維持が課題である。
- ・バスとの乗継ぎ客が多く、現在のダイヤは乗継ぎの待ち時間が少なく利便性が高い。今後もサービスレベルの維持が課題である。また、ICaのプリペイド方式の導入により、定期外利用者の利便性向上が課題である。
- ・より利用しやすい浅野川線をめざすため、ダイヤの調整などコミュニティバスとの連携が課題である。
- ・今後は、利用者の希望のあった、「ショッピングセンターと駅とを結ぶシャトルバス」、「電車と全路線バスのフリー乗車券」、「P&R駐車場の整備」などの実現可能性の検討が課題である。

課題4 浅野川線のイメージの向上策を展開し、利用者の減少に歯止めをかける

- ・浅野川線では利用促進やイメージ向上を目的としたPRやイベント実施しており、モビリティマネジメントの視点をふまえた利用促進をコミュニティバスと連携しながら今後も継続して行うことが望まれる。
- ・接客用語集や講習会が行われているが、接客態度に不満を持っている利用者も見られるため、イメージ向上のためにも接客姿勢の向上が課題である。

課題5 高齢者の足、通勤・通学の足として、待ちやすくてわかりやすいサービスを提供し、利用者の増加をめざす

- ・路線バスは、自動車の利用できない女性や高齢者にとって必要不可欠な移動手段であり、高齢化が進む今後はますます重要な機能が期待されるため、維持が課題である。
- ・利用者が望む利用促進策である「運行情報の提供」、「ベンチ・上屋の整備」など、快適なバス待ち環境の実現可能性について検討が課題である。特にコミュニティバスなどの乗換え地点となるバス停のバス待ち環境の向上が望まれる。

課題6 路線ごとの利用実態にあわせたサービスの見直し、コミュニティバスとの機能分担を行う

- ・路線ごとにサービスレベル、利用者像、アクセスできる場所などが異なるため、利用実態にあわせたサービスの見直しが課題である。また、コミュニティバスとの連携策として、乗換え乗換え利便性の向上のための乗換えしやすいダイヤを設定や、機能の分担を検討する必要がある。

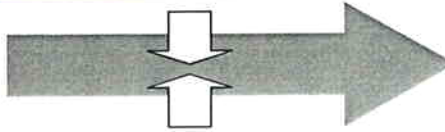
課題7 バス利用のイメージ向上を行い、利用者の減少に歯止めをかける

- ・モビリティマネジメントの視点をふまえたバス利用促進の広報やイベントをコミュニティバスなどと連携して行うことにより、バス利用のイメージ向上や利用促進が課題である。

■将来のまちのすがた
(第4次内灘町総合計画)
人がいきいき まちが元気
個性が輝く魅力あるまち うちなだ

■都市基盤における基本方針
より便利な交通環境の構築を目指して、公共交通の利便性の向上、周辺都市との交通ネットワークの強化に努めます。

■自然・環境における基本方針
身近な生活環境が良好に保たれ、安全、安心に暮し続けられるように、大気、水質などの保全・美化に努めます。



町民が望む公共交通

住みやすいまち、住み続けたいまち、
の実現のために、公共交通環境整備が必要

- ・都市基盤整備施策の中で最も希望が高かったのは「公共交通機関の充実」であり、町民の37.7%が望んでいる。
- ・北部地区の人が最も多く望んでいるのは、「公共交通機関の充実」であり、約半数の人が望んでいる。
- ・住みやすさの意向別で、「住みにくい」と考えている人が最も多く望んでいる施策は、「公共交通の充実」であった。
- ・永住の意向別で、「他へ移りたい」と考えている人が最も多く望んでいる施策は、「公共交通の充実」であった。

日常の買物・通院のための
南部地区内の買物と北部地区から
南部地区へのアクセスの確保

- (北部地区)
- ・平日の買い物先の57%、通院先の51%が南部地区。買い物頻度は南部に比べ低い
 - ・希望の行先は南部地区の病院、役場、スーパー、駅。
- (南部地区)
- ・平日の買い物先の81%、休日59%、通院先の63%が南部地区。
 - ・希望の行先は南部地区のスーパー、役場、駅、病院。

地域公共交通活性化、再生の基本的な方針

社会的側面

社会を支える
高齢者や車を運転しない人など
自動車を利用しない・できない人に配慮した
交通手段の確保

内灘町における公共交通は、自分で車を運転しない人の移動を助ける交通手段とすることを優先しつつ、それ以外の人にもできるだけ利用しやすいものとし、将来的には車からの転換をめざす。

経済的側面

経済的で持続可能
需要に応じた
柔軟で持続可能な公共交通の実現

町民が主体的に計画に参加する、平日と休日とで運行形態を変える、既存の交通資源を活用するなど、利用実態やニーズなどにあわせた柔軟な公共交通を調査や分析に基づき、町民とともに実現する。

環境的側面

環境負荷を軽減
環境に配慮した公共交通の実現

内灘町では、将来のまちのすがたを実現する自然・環境における基本方針として、「大気、水質などの保全・美化」を掲げている。公共交通においても環境への配慮を行う。

2. 内灘町の地域公共交通活性化・再生の方針・方向性・事業

内灘町における現況、課題をふまえ、公共交通の活性化、再生の方針と方向性、それらを実現するための施策イメージを以下に示す。

地域公共交通活性化、再生の基本的な方針		内灘町の公共交通の方向性	施策の目標および事業
社会的側面 社会を支える 高齢者や車を運転しない人など 自動車を利用しない・できない人に配慮した交通手段の確保 内灘町における公共交通は、自分で車を運転しない人の移動を助ける交通手段とすることを優先しつつ、それ以外の人にもできるだけ利用しやすいものとし、将来的には車からの転換をめざす。	方向性1 南部地区住民にも、北部地区住民にも、移動しやすい町を公共交通により実現する。 ・北部地区住民の新しい公共交通の利用を希望している人の80%が南部地区内の施設へのアクセスを希望している。 ・南部地区住民は平日の買い物の75%を南部地区内で行っている。 ・南部地区内での移動と北部地区から南部地区へのアクセスを公共交通により実現する。 ・金沢市への移動が多いことから、内灘駅までの公共交通によるアクセスを確保する。	(1)地区別の移動手手段の確保(コミュニティバスの導入) 南部地区の病院、役場、スーパー、駅にアクセスできる交通手段の確保。南部地区内のスーパー、役場、病院、駅を移動できる交通手段の確保。 ※福祉センター、総合公園などへのアクセスも考慮 事業1 コミュニティバスの導入 (2)高齢者、通勤・通学の足としてわかりやすさ、待ちやすさを実現 ベンチや上屋の設置、運行情報の提供などを行うことでバス停でのバス待ち環境を向上し、誰もが利用しやすい、わかりやすいバスシステムをめざす。 事業2 ベンチ・上屋の整備 事業3 運行情報の提供 (3)乗り継ぎ利便性向上により使いやすさを実現 浅野川線、既存路線バス、コミュニティバスや車との乗継ぎ利便性向上策を実現することにより、乗り継ぎしやすい、利用しやすい公共交通環境の実現をめざす。 事業4 コミュニティバスとの連携(乗継ぎしやすいダイヤ設定、乗継ぎ割引など) 事業5 ICカードの導入 事業6 内灘駅-コンフォモール内灘シャトルバスの導入 事業7 パーク&レールライドシステムの導入 事業8 多様な乗車券の導入 (4)浅野川線、既存路線バス、コミュニティバスの特性を活かし、効率的で便利な運行を実現 定時性の高い金沢へのアクセス手段としての浅野川線、内灘駅-医大への直達性の高さ(鶴ヶ丘住宅線)や、通勤時間帯の足(内灘・宇野気線)としての機能をもつ既存路線バス、町内の細かな移動ニーズを実現するコミュニティバスなどそれぞれの移動手手段の特性、機能を活用し、連携することで、効率的で便利な運行を実現する。また、既存の路線バスについては、利用者像、ルート、サービスレベルなど、現状の利用実態、町民の移動ニーズに合わせたサービスの見直しを行う。 事業9 白帆台の商業施設への運行(鶴ヶ丘住宅線) (5)町民参加による持続可能な公共交通 公共交通、自動車交通を含む内灘町民の生活に必要な交通に関する協議を町民により行う。また、病院、スーパーなどの施設と連携し、買い物バス券の導入検討など利便性の向上をめざす。 事業10 地域公共交通会議の開催 事業11 福祉・医療施設、商業施設との連携 (6)モビリティマネジメントなどの推進により使ってみたくなる公共交通のイメージを実現 町民を巻き込んだ公共交通利用促進イベントの開催や総合時刻表や公共交通の利用を紹介するパンフレットなどの作成により、使ってみたくなる、町民が支える公共交通を実現する 事業12 モビリティマネジメントの推進	
	経済的側面 経済的で持続可能な公共交通の実現 需要に応じた柔軟で持続可能な公共交通の実現 町民が主体的に計画に参加する、平日と休日とで運行形態を変える既存の交通資源を活用するなど、利用実態やニーズなどに合わせた柔軟な公共交通を調査や分析に基づき、町民とともに実現する。		方向性2 既存の公共交通資源の活用の検討 ・現在、内灘町を運行している浅野川線、路線バスの利便性を高めると同時に、浅野川線、路線バス、コミュニティバス間の連携を高め、利用しやすい公共交通環境を実現する
	環境的側面 環境負荷を軽減 環境に配慮した公共交通の実現 内灘町では、将来のまちのすがたを実現する自然・環境における基本方針として、「大気、水質などの保全・美化」を掲げている。公共交通においても環境への配慮を行う。		方向性3 町民参加による町民も支える持続可能な公共交通の実現 ・調査や分析に基づき、町民の利用ニーズを反映した公共交通を町民参加により実現する。また、町の財政にも配慮し、町民の積極的利用、企業が運行に協力するなど町民や企業が支える持続可能な公共交通を実現する

2章 地域公共交通総合連携計画の区域

内灘町は、南北に長い町域を有しており、河北潟放水路が町を南部地区と北部地区をわけている。北部地区、南部地区の移動をはじめとする生活における利便性の差を解消するなどの観点から平成20年2月からコミュニティバスが運行している。また、民間路線バスが隣のかほく市、金沢市と内灘町を結ぶように運行している。南部地区からは、金沢駅への鉄軌道である浅野川線が運行している。

本計画では、内灘町町域全体を計画区域と位置づける。



図 地域公共交通総合連携計画の区域

3章 地域公共交通総合連携計画の目標

本計画の目標は、下記のとおりとする。

全体目標 社会的側面、経済的側面、環境的側面に配慮しながら、浅野川線、路線バス、コミュニティバスの連携をはかることで、南部地区住民にも北部地区住民にも移動しやすい公共交通環境を実現する。

施策の目標		目標を達成するための事業	
目標1	地区別の移動手段の確保（コミュニティバスの導入）	事業1	コミュニティバスの導入
目標2	高齢者、通勤・通学の足としてわかりやすさ、待ちやすさを実現	事業2	ベンチ・上屋の整備
目標3	乗り継ぎ利便性向上により使いやすさを実現	事業3	運行情報の提供
		事業4	コミュニティバスとの連携
		事業5	ICカードの導入
		事業6	内灘駅-コンフォモール内灘シャトルバスの導入
		事業7	パーク&レールライドシステムの導入
目標4	浅野川線、既存路線バス、コミュニティバスの特性を活かし、効率的で便利な運行を実現	事業9	白帆台の商業施設への運行（鶴ヶ丘住宅線）
目標5	町民参加による持続可能な公共交通	事業10	地域公共交通会議の開催
目標6	モビリティマネジメントなどの推進により使ってみたくなる公共交通のイメージを実現	事業11	福祉・医療施設、商業施設との連携
		事業12	モビリティマネジメントの推進



図 地域公共交通総合連携計画の目標

4章 目標を達成するために行う事業及びその実施主体

4-1 目標を達成するために行う事業

1. 地区別の移動手段の確保(コミュニティバスの導入)

南部地区の病院、役場、スーパー、駅にアクセスできる交通手段の確保。南部地区内のスーパー、役場、病院、駅を移動できる交通手段の確保。(※福祉センター、総合公園などへのアクセスも考慮)

事業1 コミュニティバスの導入(導入済み)

(1) 運行概要

項目	内容	
運行時間帯	南部ルート	7:20～18:10 (内灘町役場発)
	中央ルート	9:00～18:00 (内灘町役場発)
	北部ルート	9:20～18:20 (内灘町役場発)
運行間隔	南部ルート	50分間隔 (所要時間 38分)
	中央ルート	1時間間隔 (所要時間 15分)
	北部ルート	1時間間隔 (所要時間 32分)
導入車両	日野ポンチョ 2台	
運賃	100円 ※平成20年2月は無料、※未就学児は保護者の同伴に限り無料 ※福祉センターほのぼの湯への利用は乗継ぎ無料(65歳以上) 回数券:11枚つづり1,000円、定期券:1ヶ月券:2,000円、3ヶ月券:5,000円	
車内・バス停広告	バス車内、バス停に広告スペースを設置し、店舗などの広告を掲載し、広告料を得ている。	



コミュニティバス車両



バス停



車内のようす

(2) 運行ルート

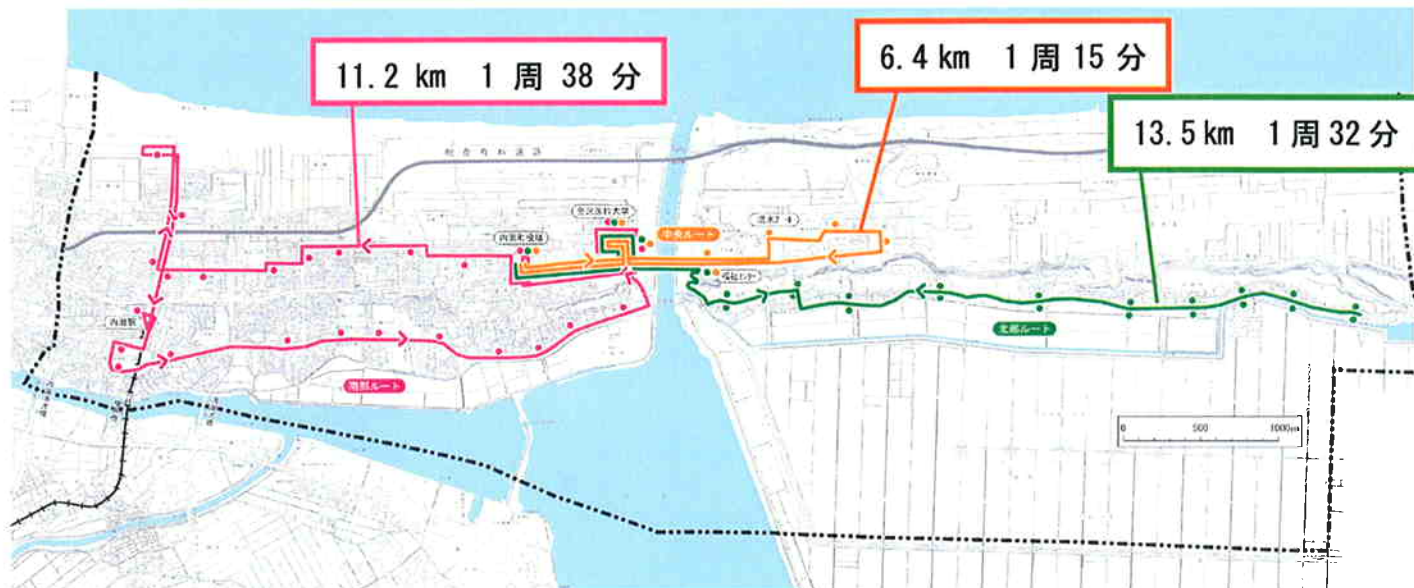


図 運行ルート

2. 高齢者、通勤・通学の足としてわかりやすさ、待ちやすさを実現

ベンチや上屋の設置、運行情報の提供などを行うことでバス停でのバス待ち環境を向上し、誰もが利用しやすい、わかりやすいバスシステムをめざす。

事業2 ベンチ・上屋の整備

(1) 整備イメージ

凡例	● 上屋及び付属施設整備メニュー	□ 標準的な整備
	● 歩道部整備メニュー	□ ハイレベルな整備
	● 車道部整備メニュー	

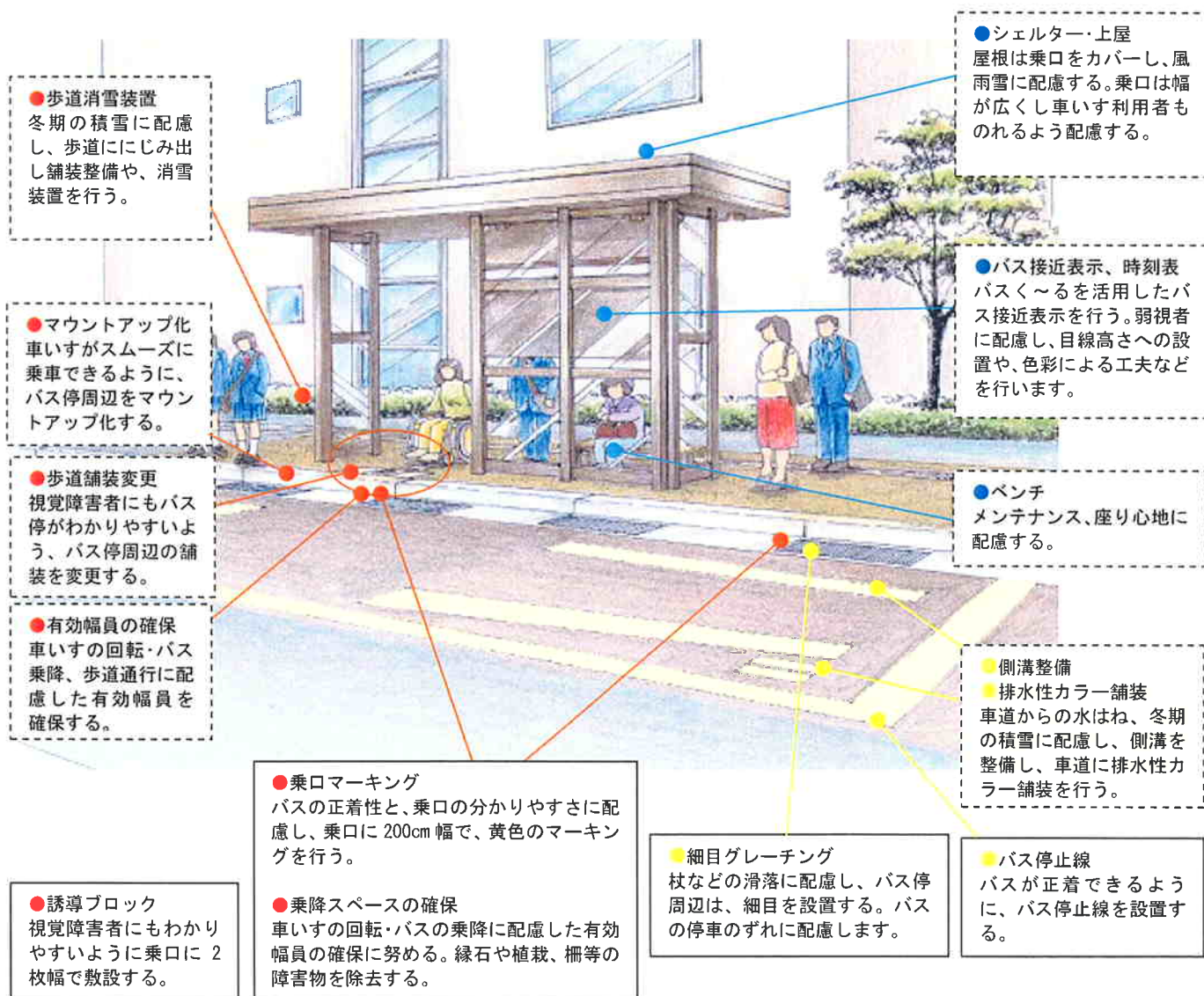


図 バス停の整備イメージ

(2) 整備事例



- ・バス待ちスペースをにじみ出し舗装にし、積雪を防いでいる。舗装はゴムチップ舗装。
(石川県金沢市猿丸神社前バス停)

- ・にじみ出し舗装、自然石樹脂舗装
(石川県金沢市幸町バス停)



- ・バスベイを整備し、バスの正着性を高めている。
(石川県野々市町太平寺)



- ・景観に配慮したバス停。待ちスペースも広い。
(石川県金沢市東山)

事業3 運行情報の提供

- ・GPSなどを活用し、簡便な方法での情報提供システムの開発、設置を進める。

■GPSを活用したバスの発着情報の提供の整備イメージ

- ・カーナビなどに使用されているGPSをバスに搭載し、人工衛星を利用してバスがどこにいるのかを正確に割り出す。
- ・位置情報を中央装置へ転送し、中央装置から各バス停へ接近情報を送信し、表示する。
- ・バスの遅れ情報や到着時刻などの情報提供もできる。
- ・システムの開発、車載器の搭載などが必要となるが、バスの正確な位置を把握することが可能である。

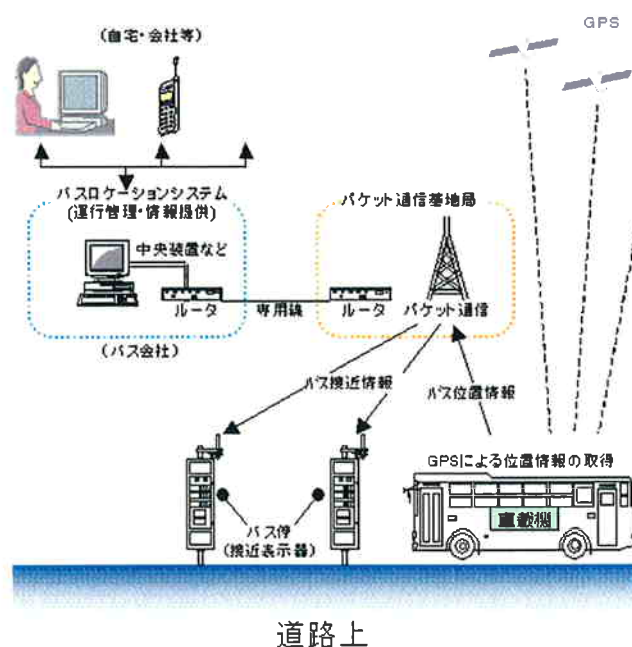


図 システムのイメージ



図 表示のイメージ

3. 乗り継ぎ利便性向上により使いやすさを実現

浅野川線、既存路線バス、コミュニティバスや車との乗継ぎ利便性向上策を実現することにより、乗り継ぎしやすい、利用しやすい公共交通環境の実現をめざす。

事業4 コミュニティバスとの連携(乗継ぎしやすいダイヤ設定、乗継ぎ割引など)

現在、コミュニティバスの時刻表には、浅野川線との乗り継ぎポイントの紹介、乗継待ち時間などを掲載し、乗換え利便性の向上をはかっている。今後は、乗継割引などを実施し、乗り継ぎしやすい、利用しやすい公共交通環境の実現をめざす。

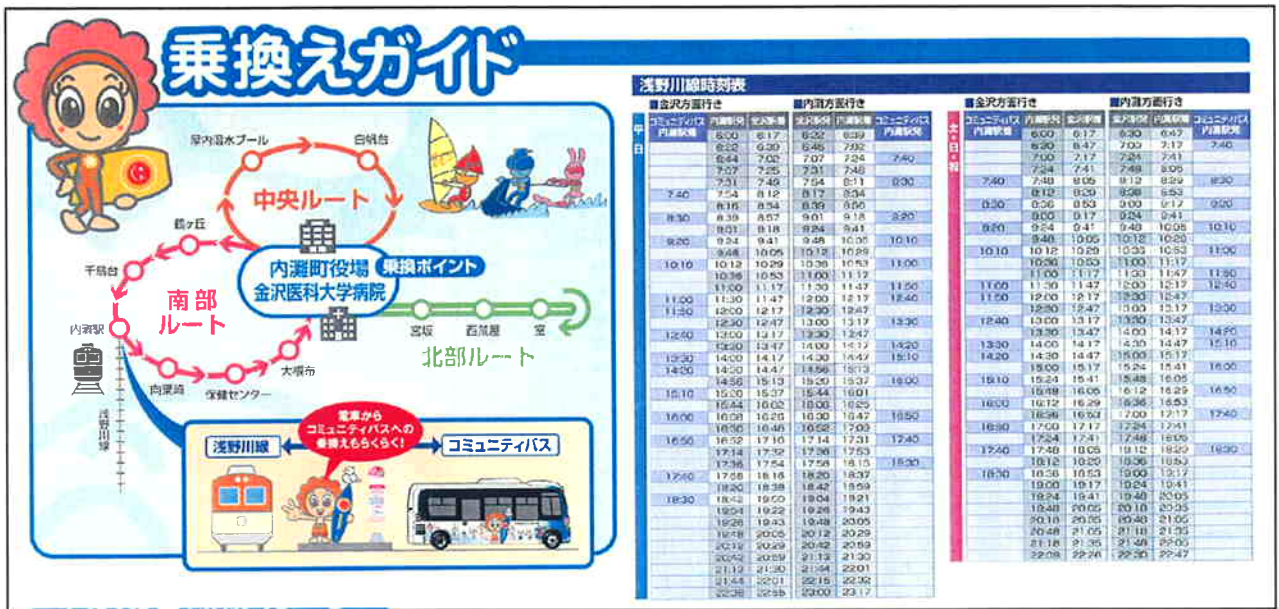


図 乗換えガイド

事業5 ICカードの導入

浅野川線内灘駅では、現在、定期的 ICa のみが利用可能である。積み増し式の ICa の利用が可能になることで、路線バスとの乗継割引などが可能となり、利便性が高まる。北陸鉄道では、平成 21 年度に浅野川線全線での ICa の導入を計画している。



図 ICa (定期券)

事業6 内灘駅ーコンフォモール内灘シャトルバスの導入

鶴ヶ丘住宅線は、浅野川線内灘駅と医科大病院・白帆台を往復する路線である。現在、内灘駅での待ち時間が最大 25 分ある。浅野川線利用者アンケート、路線バス利用者アンケートでは、「駅と大型ショッピングセンターを結ぶバス」について導入意向が高かった。内灘駅とコンフォモール内灘間は、10 分で往復できることから、内灘駅での待ち時間に、内灘駅とコンフォモール内灘とを結ぶシャトルバスとして機能することを検討する。

表 乗り継ぎ待ち状況（上り）

表 乗り継ぎ待ち状況（下り）

鶴ヶ丘住宅線				内灘宇野気線				浅野川線 内灘駅発時刻
始発	始発時刻	内灘駅	待ち時間	始発	始発時刻	内灘駅	待ち時間	
								6:00
								6:22
医大病院	6:29	6:39	0:05					6:44
白帆台	6:45	7:01	0:06	宇野気	6:30	6:59	0:08	7:07
白帆台	7:09	7:25	0:06					7:31
白帆台	7:30	7:46	0:08					7:54
医大病院	8:00	8:10	0:06					8:16
医大病院	8:23	8:33	0:06	宇野気	7:50	8:19	0:20	8:39
医大病院	8:46	8:56	0:05					9:01
白帆台	9:00	9:16	0:08					9:24
医大病院	9:29	9:39	0:09					9:48
白帆台	9:47	10:03	0:09					10:12
医大病院	10:18	10:28	0:08	宇野気	10:00	10:30	0:06	10:38
医大病院	10:41	10:51	0:09					11:00
白帆台	10:59	11:15	0:15					11:30
医大病院	11:35	11:45	0:15					12:00
医大病院	12:05	12:15	0:15					12:30
白帆台	12:29	12:45	0:15	宇野気	12:05	12:35	0:25	13:00
医大病院	13:05	13:15	0:15					13:30
医大病院	13:35	13:45	0:15					14:00
白帆台	13:59	14:15	0:15					14:30
白帆台	14:29	14:45	0:11	宇野気	14:10	14:40	0:16	14:56
医大病院	15:01	15:11	0:09					15:20
医大病院	15:27	15:37	0:07					15:44
白帆台	15:47	16:03	0:05					16:08
医大病院	16:15	16:25	0:05					16:30
医大病院	16:37	16:47	0:05	宇野気	16:10	16:40	0:12	16:52
医大病院	17:00	17:10	0:04					17:14
白帆台	17:12	17:28	0:08					17:36
白帆台	17:34	17:50	0:08					17:58
医大病院	18:05	18:15	0:05	宇野気	17:45	18:14	0:06	18:20
医大病院	18:27	18:37	0:05					18:42
医大病院	18:49	18:59	0:05					19:04
白帆台	19:02	19:18	0:08					19:26
白帆台	19:24	19:40	0:08	宇野気	19:15	19:45	0:03	19:48
白帆台	19:46	20:02	0:10					20:12
医大病院	20:18	20:28	0:14					20:42
医大病院	20:45	20:55	0:18					21:13
医大病院	21:18	21:28	0:16					21:44
医大病院	22:20	22:30	0:08					22:38

浅野川線 内灘駅着時刻	鶴ヶ丘住宅線				内灘宇野気線			
	待ち時間	内灘駅	終着時刻	行先	待ち時間	内灘駅	終着時刻	行先
6:39	0:02	6:41	6:57	白帆台				
7:02	0:02	7:04	7:20	白帆台	0:08	7:10	7:38	宇野気
7:24	0:02	7:26	7:36	医大病院				
7:48	0:02	7:50	8:00	医大病院				
8:11	0:02	8:13	8:23	医大病院				
8:34	0:02	8:36	8:46	医大病院				
8:56	0:02	8:58	9:08	医大病院				
9:18	0:02	9:20	9:36	白帆台	0:03	9:21	9:51	宇野気
9:41	0:02	9:43	9:53	医大病院				
10:05	0:02	10:07	10:17	医大病院				
10:29	0:02	10:31	10:47	白帆台				
10:53	0:02	10:55	11:05	医大病院				
11:17	0:02	11:19	11:29	医大病院	0:08	11:25	11:55	宇野気
11:47	0:02	11:49	12:05	白帆台				
12:17	0:02	12:19	12:29	医大病院				
12:47	0:02	12:49	12:59	医大病院				
13:17	0:02	13:19	1:35	白帆台	0:08	13:25	13:55	宇野気
13:47	0:02	13:49	14:05	白帆台				
14:17	0:02	14:19	14:29	医大病院				
14:47	0:02	14:49	14:59	医大病院				
15:13	0:02	15:15	15:25	医大病院	0:07	15:20	15:50	宇野気
15:37	0:02	15:39	15:55	白帆台				
16:01	0:02	16:03	16:13	医大病院				
16:25	0:02	16:27	16:37	医大病院				
16:47	0:02	16:49	16:59	医大病院	0:06	16:53	17:22	宇野気
17:09	0:02	17:11	17:27	白帆台				
17:31	0:02	17:33	17:43	医大病院				
17:53	0:02	17:55	18:05	医大病院				
18:15	0:02	18:17	18:27	医大病院	0:13	18:28	18:57	宇野気
18:37	0:02	18:39	18:55	白帆台				
18:59	0:02	19:01	19:17	白帆台				
19:21	0:02	19:23	19:39	白帆台				
19:43	0:02	19:45	20:01	白帆台	0:04	19:47	20:10	大崎北口
20:05	0:02	20:07	20:17	医大病院				
20:29	0:02	20:31	20:41	医大病院	0:23	20:52	21:15	大崎北口
20:59	0:02	21:01	21:11	医大病院				
21:30	0:02	21:32	21:42	医大病院				
22:01	0:02	22:03	22:13	医大病院				
22:32	0:02	22:34	22:44	医大病院				
23:17	0:02	23:19	23:29	医大病院				



名称	コンフォモール内灘	
場所	内灘町千鳥台	
開店時期	平成 19 年 11 月 16 日開業	
施設概要	A ゾーン	ファミリーロッジ旅籠屋（宿泊施設）、スーパー銭湯「天然温泉 湯来楽」
	B ゾーン	イオンの食品スーパー「マックスバリュ」を核に各専門店
	C ゾーン	クスリのアオキ

図 内灘駅ーコンフォモール内灘シャトルバスの導入イメージ

事業7 パーク&レールライドシステムの導入

浅野川線は、25分/本の頻度で運行しており、利便性が高い。朝の通勤・通学時間帯は、100人/便以上に利用されている。また、通勤・通学時間帯には、キス&ライドで内灘駅にアクセスする人も利用者の2割程度見られる（平日17%、休日14%）。また、アンケートでは、「内灘駅付近の浅電利用者用無料駐車場があるとよい」という意見も見られた。

このため、パーク&レールライド用駐車場を確保し、浅電利用者の利便性を向上する。また、休日などにも駐車場を開放することにより、新規の利用者の確保をめざす。

内灘駅前は、路線バス、タクシー、自家用車などの動線が混在しており、駐車場の確保が困難なことから、内灘駅周辺の商業施設などの駐車場を借り上げることを検討する。



図 内灘駅でのキス&ライドの様子



図 額住宅前駅前のパーク&レールライド駐車場

事業8 多様な乗車券の導入

内灘町での路線バス利用者のうち、鶴ヶ丘住宅線利用者の半数以上は浅野川線に利用している（平日・金沢方面 67%、宇野気方面 8%。休日・金沢方面 49%、宇野気方面 40%）。特に、休日は、現金の利用者が 51%であり、ICa 利用者が少ないことから、電車と路線バスのフリー乗車券や、浅野川線への ICa の積み増し方式の導入による乗継ぎ割引などの導入を検討し、乗継ぎ利便性を向上し、浅野川線と路線バスの利用を促進する。

現在、北陸鉄道では、浅野川線と石川線が 1 日乗り放題になる、「1 日フリー乗車券」を発売している。



図 富山地鉄市内電車・バス 1日フリー乗車券（大人 600 円 小人 300 円）



図 伊予鉄道市内電車・バス 1日フリー乗車券（大人 300 円 小人 150 円）
（コインなどにより、乗車日を削り取るスクラッチ方式。
1Day チケット利用日の部分をスクラッチして、利用する。）

4. 浅野川線、既存路線バス、コミュニティバスの特性を活かし、効率的で便利な運行を実現

定時性の高い金沢へのアクセス手段としての浅野川線、内灘駅－医大への直達性の高さ（鶴ヶ丘住宅線）や、通勤時間帯の足（内灘・宇野気線）としての機能をもつ既存路線バス、町内の細かな移動ニーズを実現するコミュニティバスなどそれぞれの移動手段の特性、機能を活用し、連携することで、効率的で便利な運行を実現する。また、既存の路線バスについては、利用者像、ルート、サービスレベルなど、現状の利用実態、町民の移動ニーズに合わせたサービスの見直しを行う。

事業9 白帆台の商業施設への運行（鶴ヶ丘住宅線）

現在、内灘町の白帆台には、平成20年以降に開業を予定している商業施設の建設計画がある。また、浅野川線利用者アンケート、路線バス利用者アンケートでは、「駅と大型ショッピングセンターを結ぶバス」について導入意向が高かった。平成20年以降の商業施設開業時には、現在、内灘駅と医科大病院、白帆台を結ぶ鶴ヶ丘住宅線の延伸を検討する。

名称	—
場所	内灘町白帆台 30 街区・40 街区
開店時期	平成 20 年以降
施設規模	敷地面積 : 約 13,000 m ² 延べ床面積 : 約 11,000 m ² 店舗面積 : 約 5,700 m ²
施設概要	商業施設、温浴施設、婚礼施設、フィットネス、ホテル、商業施設



図 鶴ヶ丘住宅線延伸のイメージ

5. 町民参加による持続可能な公共交通

公共交通、自動車交通を含む内灘町民の生活に必要な交通に関する協議を町民により行う。また、病院、スーパーなどの施設と連携し、買い物バス券の導入検討など利便性の向上をめざす。町民、企業、施設などさまざま主体が工夫し、公共交通の運行を支え、持続可能な公共交通をめざす。

事業 10 地域公共交通会議の開催

内灘町では、平成 18 年 10 月から地域公共交通会議を開催し、コミュニティバスの導入計画について検討を行ってきた。今後は、浅野川線、路線バス、コミュニティバスを連携し、より移動しやすい公共交通の実現について検討を行うこととする。

項目	内容
名称	持続可能で移動しやすい内灘町の交通を考える会（仮称）
構成員	・内灘町公共交通等検討委員会のメンバーを元に構成。 （住民代表、利用者代表、学識経験者、町、石川県、運輸局または運輸支局、乗合バス等関係事業者、道路管理者、県警など）
目的	地域のニーズに対応した交通のあり方を審議
議論の内容	公共交通、自動車交通を含む内灘町民の生活に必要な交通全体に関する協議を行う。

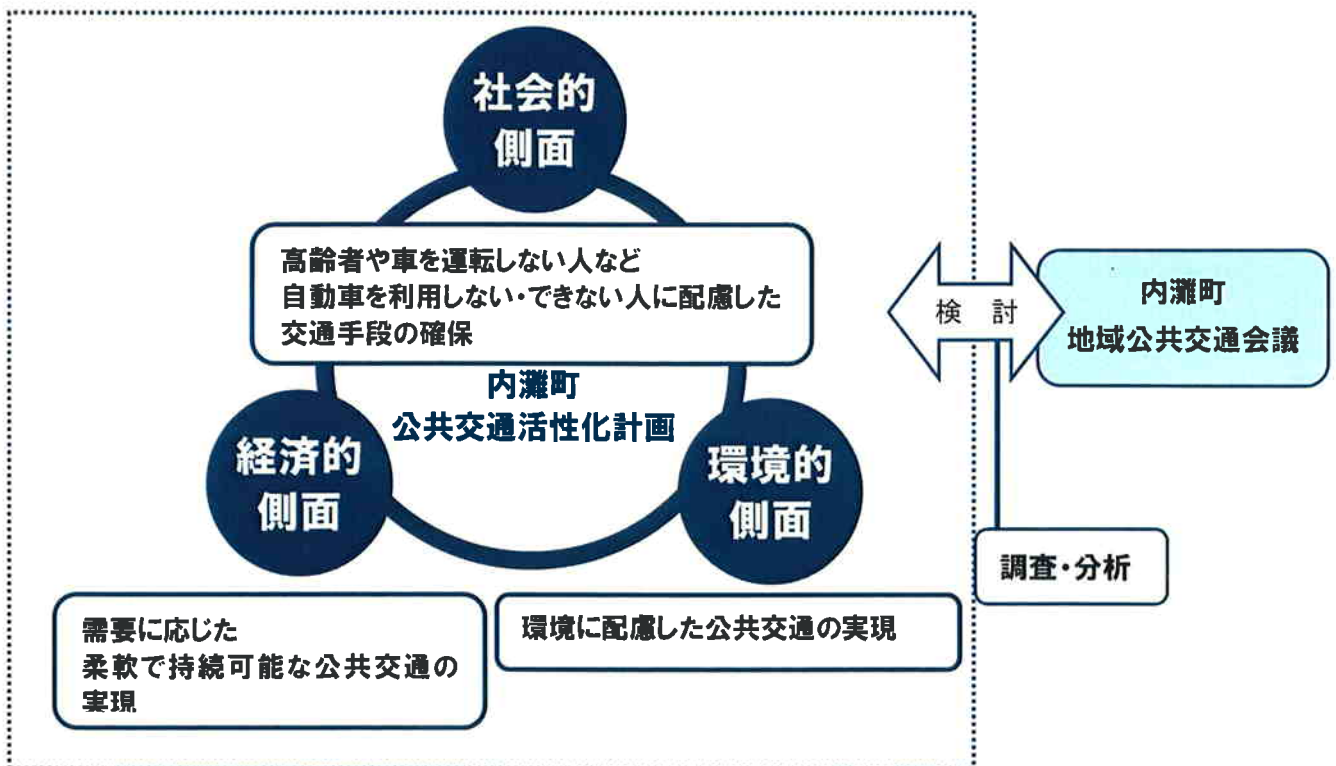


図 検討イメージ

また、内灘町のコミュニティバスは、「需要に応じた柔軟で持続可能な公共交通の実現」をめざしている。このため、次年度以降は、利用状況調査の結果に基づき、利用実態に応じたルートやバス停位置の変更を検討する。

ルートやバス停位置の変更は、利用者への周知が行われれば、需要に応じて変更することが可能であるため、地域公共交通会議での議論、関係者などとの協議を行いながら決定する。ただし、短期間でルートやバス停位置を変更すると、利用者の混乱を招くことが懸念されるため、変更したルート・バス停の導入後、1年を目処に行うこととする。

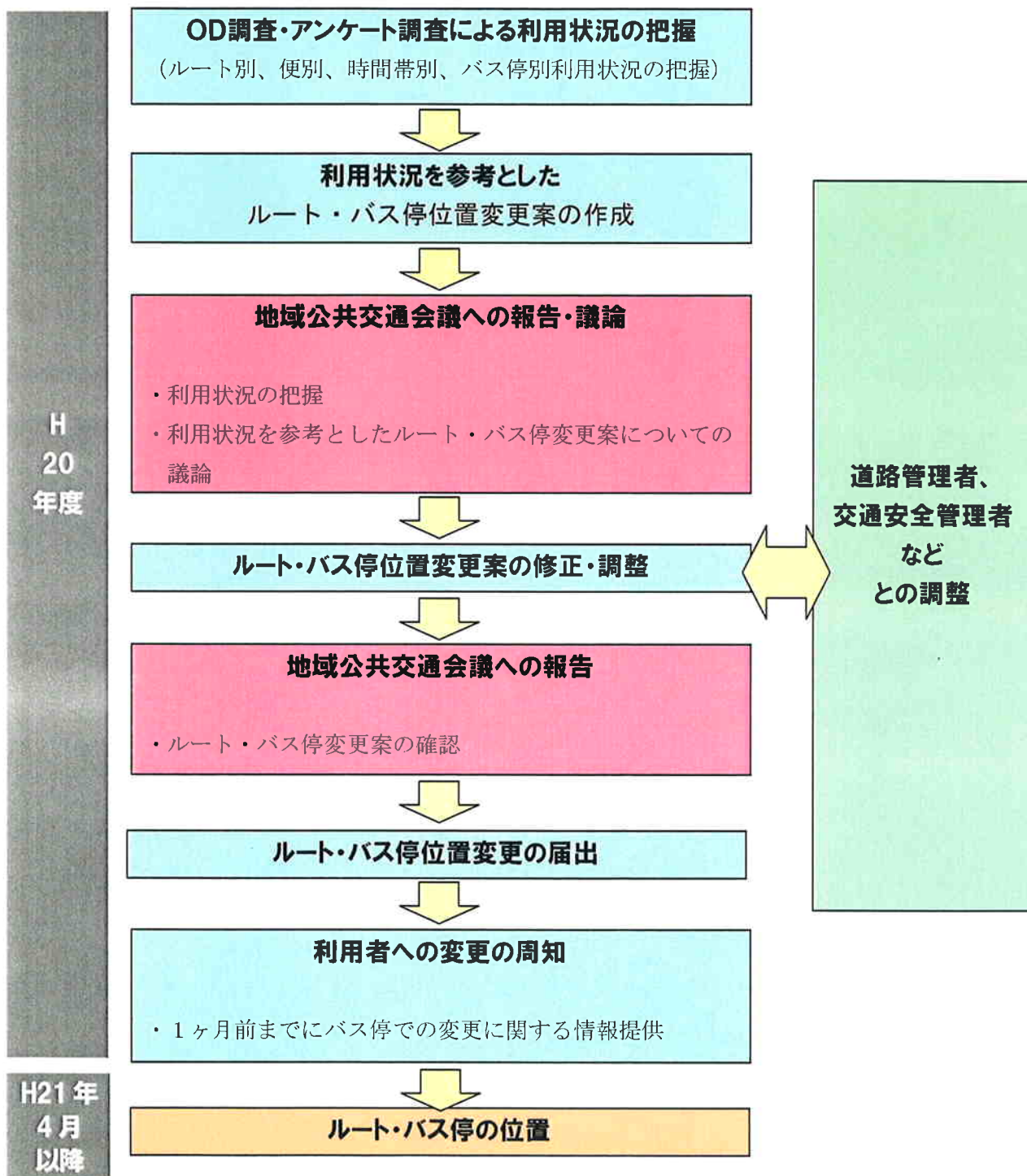


図 ルート・バス停位置の見直し検討フロー

事業 11 福祉・医療施設、商業施設との連携

現在、内灘町コミュニティバスでは、バス車内、バス停に広告スペースを設置し、店舗などの広告を掲載し、広告料を得ている。商店街と連携した買物バス券の発行など、町内のさまざまな主体と連携しながら、コミュニティバスの運行を支えるしくみづくりを行う。

(1) バス停標識柱 (49 箇所)

※金沢医科大学病院及びコンフォモール内灘敷地内のバス停を除く。

■広告の規格及び料金

- ・規格 バス停標識柱 1 本につき 1 枠を掲載 (縦 15 cm×横 40 cm)
- ・料金 1 箇所あたり 24,000 円/年



図 バス停の広告 (大根布バス停)

(2) バス車内広告 (2 台 10 面)

■広告の規格及び料金

- ・規格 日本工業規格 B3 版、
- ・料金 1 面あたり 2,000 円/月 (3ヶ月以上)

※料金には広告制作費用及び広告取付費用等は含まない。



図 バス車内の広告

6. モビリティマネジメントなどの推進により 使ってみたくなる公共交通のイメージを実現

町民を巻き込んだ公共交通利用促進イベントの開催や総合時刻表や公共交通の利用を紹介するパンフレットなどの作成により、使ってみたくなる、町民が支える公共交通を実現する。

事業 12 モビリティマネジメントの推進

内灘町において、利用しやすい公共交通環境を整えると同時に、住民ひとり1人が日常生活の中において自発的に公共交通を利用するように促すため、モビリティマネジメント施策の検討を行う。体験乗車会や子どもを対象とした説明会などの検討を行う。また、コミュニティバスや公共交通に愛着をもってもらうためのイベントなども行う。



図 高齢者を対象とした内灘町コミュニティバス説明会の様子

(1) モビリティ・マネジメント施策の調査・検討

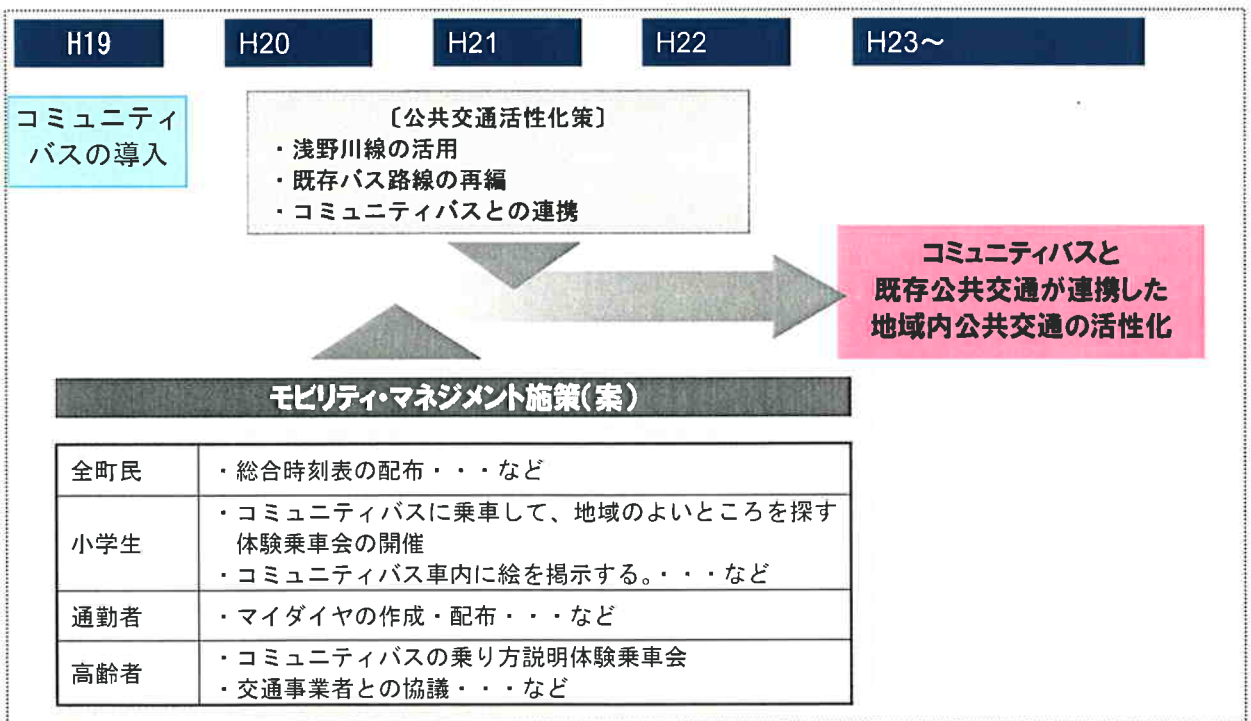


図 公共交通活性化の施策とモビリティ・マネジメント施策の流れ



写真 モビリティ・マネジメント施策の例（金沢バス利用達人養成塾）

(2) コミュニティバスの利用促進活動

コミュニティバスの利用促進や公共交通利用を使った行動への意識を啓発するイベントを内灘町におけるモビリティ・マネジメント施策の一つとして検討し、実施する。

■目的：コミュニティバスの利用促進、コミュニティバスへの愛着の増進

■内容：子どもを対象とした車両の体験乗車会、愛称の募集、総合時刻表の配布



写真 コミュニティバスの利用促進活動（金沢ふらっとバス菊川ルート出発式）

写真 金沢バス利用達人養成塾

(3) 配布物等の検討・作成

バス路線図だけでなく、バスの乗り方なども紹介する総合時刻表などを作成する。



図 和歌山都市圏公共交道路線図

4-2 目標を達成するために行う事業の実施主体

各事業の実施主体、スケジュールを以下に示す。

事業	実施主体	スケジュール		
		前期 (H20～22年度)	中期 (H23～25年度)	後期 (H26年度以降)
1 コミュニティバスの導入	日本海観光バス(株)・町	実施中	継続	継続
2 ベンチ・上屋の整備	バス事業者・町		検討	実施
3 運行情報の提供	バス事業者・町		検討	実施
4 コミュニティバスとの連携	バス・鉄道事業者・町	検討	実施	
5 ICカードの導入	鉄道事業者	実施	継続	継続
6 内灘-コンフォモール内灘シャトルバスの導入	バス事業者・町	検討・実験		
7 パーク&レールライドシステムの導入	鉄道事業者・町	検討・実験		
8 多様な乗車券の導入	バス・鉄道事業者・町	検討・実験		
9 白帆台の商業施設への運行(鶴ヶ丘住宅線)	バス事業者・町	検討・実験		
10 地域公共交通会議の開催	町	実施中	継続	継続
11 福祉・医療施設、商業施設との連携	町	実施中	継続	継続
12 モビリティマネジメントの推進	バス・鉄道事業者・町	実施中	継続	継続